

2020年11月17日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

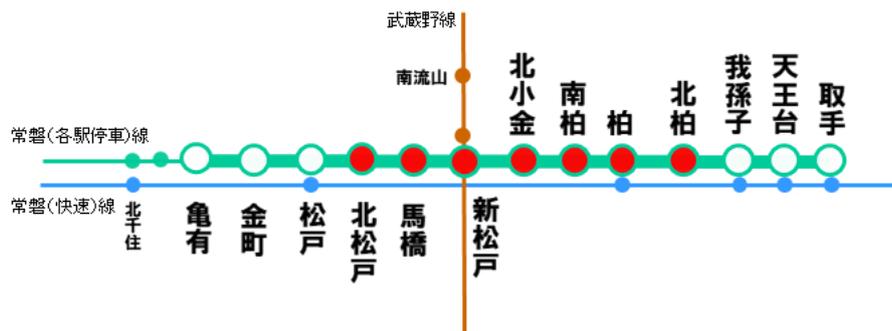
常磐(各駅停車)線に初めてホームドアを導入します ～2021年度にホームドアを使用開始する常磐(各駅停車)線の駅について～

- JR東日本では、お客さまの列車との接触や線路への転落を防止する対策として、新たな技術を積極的に活用しホームドアの整備を推進しています。
- このたび、関係自治体のご協力をいただき、2021年度に常磐(各駅停車)線に初めてホームドアを導入(計7駅)します。
- 工事期間中は、駅をご利用されるお客さまにご迷惑をお掛けしますが、早期整備に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 ホームドア導入駅・使用開始時期(予定)

駅名	設置番線	ホームドアの種類	使用開始時期(予定)
馬橋駅	1番・2番線	スマートホームドア®	2021年 7月頃
北小金駅	1番・2番線	スマートホームドア®	2021年10月頃
北松戸駅	1番・2番線	スマートホームドア®	2021年10月頃
南柏駅	1番・2番線	スマートホームドア®	2021年12月頃
柏駅	1番・2番線	従来型のホームドア	2021年12月頃
北柏駅	1番・2番線	スマートホームドア®	2021年12月頃
新松戸駅	1番・2番線	従来型のホームドア	2022年 2月頃

※工事の進捗状況により使用開始時期が変更となる場合があります。詳細な使用開始時期については決まり次第、駅のポスター等でお知らせいたします。



凡例

- 2021年度に整備する駅
- 2022年度以降の整備予定駅



従来型のホームドア(中央・総武(各駅停車)線 千駄ヶ谷駅)



スマートホームドア®(中央・総武(各駅停車)線 亀戸駅)

2 従来型のホームドアとスマートホームドア®の比較

形式	従来型のホームドア	スマートホームドア®
外観		
寸法	筐体高さ:1,300mm ドア高さ:1,200mm 下部隙間:150mm 開口幅:2,200mm	筐体高さ:1,200mm ドア高さ:1,100mm 下部隙間:370mm 開口幅:2,200mm
重量 (1開口分)	約350kg	約200kg

○スマートホームドア®は従来型のホームドアに比べ、扉部をフレームで構成したシンプルな構造で内部機構を簡素化し、軽量化を実現しています。

○スマートホームドア®はJR東日本メカトロニクス(株)の登録商標です。

○耐荷重と検知機能については従来型ホームドアとスマートホームドア®に変わりはありません。